

出前福祉体験教室のてびき

社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会

～はじめに～

地域には、子どもから高齢者、障害のある方など多くの方が生活しています。しかし、急速に進展する少子高齢化や一人暮らし・高齢者のみの世帯の増加など様々な理由で地域における人と人とのつながりが薄れてきています。このように社会情勢が大きく変化していくなかで、誰もが安心して暮らしていくためには、助け合い支え合いによる福祉のまちづくりを推進していくことが必要です。お互いのことを理解し、「共に生きる」ことの大切さを学ぶためにも福祉教育は今後ますます求められると考えています。

岡山市社会福祉協議会では、「学校」「地域」「企業」などすべての市民の方を対象に、「福祉」について理解していただくことを目的として、障害のある方やボランティアの方々の協力により出前福祉体験教室を実施しています。出前福祉体験教室は、「体験」を通じた、①気づく、②理解する（わかる）、③かわる（知識から意識へ）、④かえる（共に考え行動する）という経過を大事にしています。

この体験が、将来にわたって広い意味での社会福祉に対する理解や関心を育て、「共に生きていく力」を育むきっかけになればと考えています。

(1) お申込みされる際の留意点

- ◆ 「事前学習」・「事後学習（振り返り）」の時間を含めた計画が重要です。
体験することが目的ではありません。体験は、「理解を深めるためのツール」として捉え、「事前学習」「事後学習・活動（振り返り）」の時間を持つことが重要です。

- ◆ “気づき”を引き出すための計画が重要です。
「障害があっても、自分でできることがある」「支援が必要な時と、必要でない時がある」ことに気づくための体験です。
「できないこと」・「困っていること」を体験することが目的ではありません。

(2) 時間的余裕をもってお申込みください。

①実施希望日の遅くとも2カ月前までにお申込みください。

外部講師やアシスタントは、それぞれ仕事や家庭のある方々です。日程調整には時間がかかりますので、実施希望日の遅くとも2カ月前を目安にお申込みください。

- ※ ご希望の日時に調整が見つからない場合もあります。
- ※ 講座の進め方については、講師・岡山市社会福祉協議会（以下、岡山市社協）と十分な事前協議が必要となります。
- ※ 9月～11月は申込みが集中します。早めにご相談ください。

②1日に実施できる体験は1講座1回につき40名程度、45分が目安です。 (実技指導者2名の場合)

- ※ 講話のみの場合を除く。
- ※ p4～6の出前福祉体験教室プログラム一覧をご参照ください。

③まずは電話でご相談下さい。

- ※各事務所の連絡先はp7～8の事務所一覧をで確認ください。

(3) 使用する器材について

■器材の運搬に関すること

出前福祉体験教室の際に使用する器材は、岡山市社会福祉協議会ボランティアセンター（以下、岡山市社協ボラセン）で貸出しています。

※器材は依頼者側で搬入・搬出してください。

※返却時には、車いすのタイヤの空気の残量など器材の点検・清掃をしてください。

※《搬入・搬出の受付時間》平日（月）～（金）9:00～17:00

※準備に時間がかかる場合があるため、当日お越しの際は到着時間を岡山市社協ボラセン（電話 086-201-0171）へご連絡ください。

※車いすの運搬には、後ろのシートを倒して平らになる車が適しています。

運搬の目安・・・軽トラック	8～10台
ハイエースクラス	8台
軽四ワンボックスタイプ	5台

■貸出可能器材

1.車いす	15台まで	3.高齢者疑似体験セット	4セットまで
2.アイマスク	20枚まで		

※岡山市社協ボラセンは、岡山市社協が運営するボランティアの相談窓口です。

(4) 外部講師・アシスタントへの謝礼・交通費について

出前福祉体験教室の外部講師は、福祉教育推進に熱意のある障害を持つ方やアシスタントの方です。ご自身の経験・体験をもとに講話や指導のご協力していただいております。継続的に活動を続けていただく講師・アシスタントの負担軽減のため、ご理解をお願いします。

※詳しい内容についてはご相談ください。

(5) 報告書について

出前福祉体験終了後は実施事務所まで報告書をご提出ください。
今後の参考にさせていただきます。

《提出期限》 開催後 2 週間以内

＜出前福祉体験教室 実施までの流れ＞

順序	依頼者 (学校・団体・企業など)	岡山市社協ボラセン または区・分室	外部講師・スタッフ	備考
1	★2ヶ月前 電話にて相談・予約 (内容の相談、 日程調整など)			
				※希望の日程や実施内容などを聞き取ります。
2		外部講師・スタッフ 貸出器材などの調整		
				外部講師の場合、謝金が必要になります。
3		実施決定 (実施日・講師)の ご連絡		※電話にて決定内容 をお知らせします。
4	★1ヶ月前 申請書・企画書を 担当事務所に提出 ※事業所一覧(P.7)			様式1 『出前福祉体験教室 申請書』 ※ <u>原本を提出してく ださい。</u>
				様式2 『出前福祉体験教室 企画書』
				※ <u>申請書・企画書の提出をもって正式にご依頼をお受けします。</u> (実施日の1ヶ月前までに提出ください)
5		実施前打合せの ご連絡		
				※確認事項 借用物品の受取り・返却時間、会場入り時間 駐車場、会場準備、講師の出迎えなど
6		出前福祉体験教室の実施		※依頼者は借用器材 の運搬、講師の会場 へ誘導などをお願い いたします。
7	謝礼・交通費の お支払い			※依頼者から外部講 師・スタッフへ直接 お支払いください。
8	実施報告書の 提出			様式3 『出前福祉体験教室 実施報告書』
				※実施後、2週間以内に担当事 務所にご提出ください。

※ 相談から実施までにかかる期間の目安は、約2ヶ月です。

(6) 出前福祉体験教室 プログラム一覧

記載しているプログラムは1回の授業で行う場合を想定しています。
詳細については個別で調整します。

名称	障害を持つ方の体験談	No.1
内容	車いす利用者、視覚障害者、聴覚障害者など障害を持つ方から生活上の体験などを聞いて、暮らしやすいまちにするためにどんなことが必要か、何ができるかを考えます。	
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	
体験に要する時間	45分	
担当団体・個人	市内在住の障害を持つ方	
会場	教室もしくは体育館 ※車いす利用者の場合は、控え室を含め1階で開催をお願いします。 ※学校到着後、会場までのご案内をお願いします。	
必要な物品 注意事項など	①車いす体験とセットでの実施も可能です。 ②送迎をお願いする場合があります。 ③講師によってはビデオやプロジェクターなどを使用する場合がありますので、その際は機器のご用意をお願いします。	

名称	車いす体験	No.2
内容	車いすに乗る・車いすに乗った人を介助する体験を通して、車いすで生活している方の気持ちやバリアフリーについて考えます。	
適正な体験人数	40名程度（実技指導者1名につき20名程度）	
体験に要する時間	45分（実施内容によります。）	
担当団体・個人	岡山市社協職員または地域で福祉活動を行っているボランティアの方	
会場	体育館もしくは教室・学校外周辺 ※雨天の場合を考慮し、必ず体育館などの屋内を確保してください。	
必要な物品 注意事項など	①車いす（岡山市社協で貸出しています。） 車いすは2～3人に1台必要です。 ②段差用マット、三角コーンなど ③動きやすい服装 ④当日の会場設定および講座中のお手伝いをお願いします。	

名称	アイマスク体験	No.3
内容	2人1組になって、ガイドする側とガイドされる側(アイマスク着用)を交互に行う体験をし、視覚に障害を持つ方の気持ちや、バリアフリーについて考えます。	
適正な体験人数	40名程度(実技指導者1名につき20名程度)	
体験に要する時間	45分(実施内容によります。)	
担当団体・個人	岡山市社協職員または地域で福祉活動を行っているボランティアの方	
会場	体育館もしくは教室・学校外周辺 ※雨天の場合を考慮し、必ず体育館などの屋内を確保してください。	
必要な物品 注意事項など	①アイマスク(岡山市社協で貸出しています。) アイマスクは2人に1枚必要です。 ②段差用マット、三角コーンなど ③動きやすい服装 ④当日の会場設定および講座中のお手伝いをお願いします。	

名称	手話体験	No.4
内容	あいさつや自己紹介など簡単な手話の体験と聴覚障害者理解に関する講話。聴覚に障害のある方との様々なコミュニケーション方法や、生活上の体験についての講話。	
適正な体験人数	40名程度	
体験に要する時間	45分	
担当団体・個人	手話サークルなど	
会場	一般教室 ※学校到着後、会場までのご案内をお願いします。	

名称	高齢者疑似体験	No.5
内容	高齢者疑似体験セットを着用して高齢者の身体的特徴を体験することで、高齢者との接し方やどのような配慮が必要なのか、大切なかを考えます。	
適正な体験人数	40名程度（実技指導者1名につき20名程度）	
体験に要する時間	45分（実施内容によります。）	
担当団体・個人	岡山市社協職員	
会場	体育館もしくは教室・学校外周辺	
必要な物品 注意事項など	①高齢者疑似体験セット 岡山市社協に5セットあります。 ※返却の際にはチェックリストを利用して用具の戻入の確認をして返却してください。 ②段差用マット、三角コーンなど ③動きやすい服装	

名称	ボランティア活動についての講話（災害ボラを含む）	No.6
内容	ボランティア活動を始めるにあたって知っておきたいこと、気を付けるべきこと、どんなボランティア活動があるか、自分に合ったボランティアの探し方などボランティア活動の基礎知識に関する講話。また、被災地などでの災害ボランティア活動について、活動者の方からの体験談。	
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可（内容によります。）	
体験に要する時間	45分	
担当団体・個人	災害ボランティア（登録者、経験者）および岡山市社協職員	
会場	体育館もしくは教室・学校外周辺	
必要な物品 注意事項など	特になし	

事務所一覧

事務所	電話・FAX	受付	住所
岡山市社会福祉協議会ボランティアセンター（北区中央事務所）	086-222-8619 086-238-7757	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒700-0913 岡山市北区大供二丁目 4-25 ＜担当地域＞ 内山下・深柢・弘西・南方・清輝・岡南・出石・鹿田・大元・御野・牧石・石井・大野・三門・西・御南・吉備支部（吉備・陵南）
北区北事務所	086-250-2007 (FAX 兼用)	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒700-0071 岡山市北区谷万成二丁目 6-33 ＜担当地域＞ 伊島・津島・一宮支部（中山・馬屋下・桃丘・平津）・津高支部（野谷・横井・馬屋上）・高松支部（庄内・加茂・鯉山）・足守支部（足守・大井・高田・福谷）
御津分室	086-724-3121 086-724-2934	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒709-2121 岡山市北区御津宇垣 1227-2 ＜担当地域＞ 御津支部（御津・御津南・五城）
建部分室	086-722-1770 (FAX 兼用)	火～日曜日 （祝日を除く） 8:30～17:15	〒709-3142 岡山市北区建部町建部上 564 ＜担当地域＞ 建部支部（竹枝・福渡・建部）
中区事務所	086-238-9200 086-238-9500	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒703-8566 岡山市中区赤坂本町 11-47 ＜担当地域＞ 旭東・平井・三敷・宇野・旭竜・高島・富山・操南・操明・旭操・財田・幡多・竜之口

事務所	電話・FAX	受付	住所
東区事務所	086-942-3260 (FAX 兼用)	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒704-8116 岡山市東区西大寺中二丁目 16-33 <担当地域> 西大寺支部（古都・可知・芥子山・政田・開成・西大寺・西大寺南・雄神・豊・太伯・幸島・朝日・大宮）・上道支部（浮田・城東台・平島・御休・角山）
瀬戸分室	086-952-4441 086-952-2225	月・火・木～土曜日（祝日を除く） 8:45～17:30	〒709-0816 岡山市東区瀬戸町瀬戸 54-1 <担当地域> 瀬戸支部（江西・千種）
南区南事務所	086-263-0012 086-263-0080	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒702-8021 岡山市南区福田 690-1 <担当地域> 福浜・平福・福島・南輝・芳泉・浦安・芳田・芳明・甲浦・小串
南区西事務所	086-281-0027 (FAX 兼用)	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒701-0205 岡山市南区妹尾 880-1 <担当地域> 妹尾支部（妹尾・箕島）・福田支部（福田）・興除支部（興除・曾根・東畦） 藤田支部（第一藤田・第二藤田・第三藤田）
灘崎分室	086-362-4265 086-362-4629	平日（祝日を除く） 8:30～17:15	〒709-1215 岡山市南区片岡 159-1 <担当地域> 灘崎支部（灘崎・迫川・七区・彦崎）・